

CQ かすかぎ  
JA2YDX



No.637. JUN. 2024

春日井アマチュア無線クラブ

5月11日(土)~12日(日)の2日間春日井市都市緑化植物園、グリーンピア展示室にて「春期春日井バラ展」が催されました。当クラブからも数名の局長さんがバラ展にご訪問されました。ご紹介します。



会員が持ち寄ったバラの  
展示準備、手際良く飾られ  
て行きます



JF2QKA



JA2CAY(右)と JA2GBA



JO2LAK ご夫婦



ほぼ全景

6 春企政第66号

令和6年6月3日

春日井アマチュア無線クラブ

井戸 聰英 様

春日井市長 石 黒 直 樹

市制80周年記念事業について（御礼）

青葉の候 ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

魅力あふれる市制80周年記念市民団体企画事業を実施していただき、誠にありがとうございました。1年を通して、多彩な事業が開催されたことで、市民の皆様の強い絆が生まれ、多くの感動を共有することができたのは、ひとえに皆様の御協力の賜物であり、深く御礼申し上げます。

このたび、市制80周年記念事業の報告書を作成し、次のとおり市ホームページに掲載しましたので、御高覧いただければ幸いに存じます。

今後とも、市政への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

【ホームページ掲載箇所】

ホーム>市政情報>政策・計画>その他の政策・計画>市制80周年記念事業



ページID : 1029024

<問い合わせ先>

春日井市企画経営部企画政策課

担当 上河原・北林

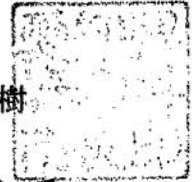
TEL 0568-85-6031 FAX 0568-83-9988

メール kikaku@city.kasugai.lg.jp

6 春市安第 240 号  
令和 6 年 6 月 4 日

春日井アマチュア無線クラブ  
会長 井戸 聰英 様

春日井市長 石 黒 直 樹



令和 6 年度春日井市総合防災訓練に係る関係機関打合せ会議の開催について  
(依頼)

梅雨の候 ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当市防災行政に御理解と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

この度、令和 6 年度春日井市総合防災訓練の参加につきまして、御快諾をいただき誠にありがとうございます。

つきましては、関係機関の打合せ会議を次のとおり開催しますので、担当者の出席について御配慮くださいますようお願い申し上げます。

- 1 日 時 令和 6 年 8 月 8 日 (木) 午後 3 時から
- 2 場 所 春日井市消防署 3 階大会議室 (春日井市北城町 3 丁目 2 番地 2)  
※ 場所は、別図を御参照ください。

### 3 議 題

- (1) 春日井市総合防災訓練について
- (2) その他

### 4 その他

お手数ですが、出欠につきまして別紙 (FAX、メール等) または電子申請 (QR コードまたは URL) により、7 月 11 日 (木) までに御回答いただきますよう、よろしく申し上げます。

#### 【URL】

[https://www.shinsei.e-aichi.jp/city-kasugai-aichi-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=98929](https://www.shinsei.e-aichi.jp/city-kasugai-aichi-u/offer/offerList_detail?tempSeq=98929)

#### 【QRコード】



#### <連絡先>

総務部市民安全課

防災担当 倉知、井上、高橋

電話 (0568) 85-6072

FAX (0568) 83-9988

MAIL [anzen@city.kasugai.lg.jp](mailto:anzen@city.kasugai.lg.jp)

## 川（水路）と橋

### ■ 玉野は陸の孤島

玉野町は、玉野川やうぐい川に挟まれ周辺の町からの往来は橋を渡らなければできないのは、今も昔も変わりません。

町内でも銅野地域の住民は、うぐい川で分断され「うぐい川橋」や「かじか橋」「ふもと橋」を利用しています。

また、うぐい川を挟んだ隣接の町々からは「井ノ口橋」「木附橋」「木附大橋」「玉橋」そして「玉川橋」（26年度以降に開通予定）があります。

しかも玉野川の対岸の町々からは「城嶺橋」「玉莖橋」「鹿乗橋」など市内でも“有数の橋のある町”であり、まさに“陸の孤島”とも言える地域です。

### ■ 一昔まえまでは交通の要所

尾張国と美濃国境の村・玉野は、交通の要所でもありました。

とくに江戸時代は玉野川（下流は庄内川）の対岸には定光寺（徳川義直尾張藩初代藩主の廟）があり、しかもその麓（ふもと）に水野代官所があったことから人（士農工商）の往来は多かったのです。

しかも、尾張の国境から山越え、川越えすれば美濃・信濃国へ通じる街道があったことから、他国の人の往来も少なくはありませんでした。

他国への往来は、関所のある街道筋を通るのが一般的ですが、急ぎの用務があるときや行商人や

民百姓が縁者を尋ねていくときなどは間道を利用したほうが気楽でした。

その間道というべき道は山沿い（内津峠から玉野まで）にもあったし、庄内川（玉野川）沿い（勝川、松河戸、桜佐、雛五、大留、気噴、高蔵寺、玉野村）にもありました。

川沿いの道は“玉野道”と呼ばれ対岸へは、勝川の渡し、野田渡し、入尾渡し、岩割瀬の渡しを結ぶようにつながっていました。

“玉野道”の終着地は“岩割瀬の渡し”で、ここに行くには“うぐい川”を渡らなければ辿りつくことができませんでした。

そのうぐい川には古くから丸太橋（大木を二本並べた橋）がありました。

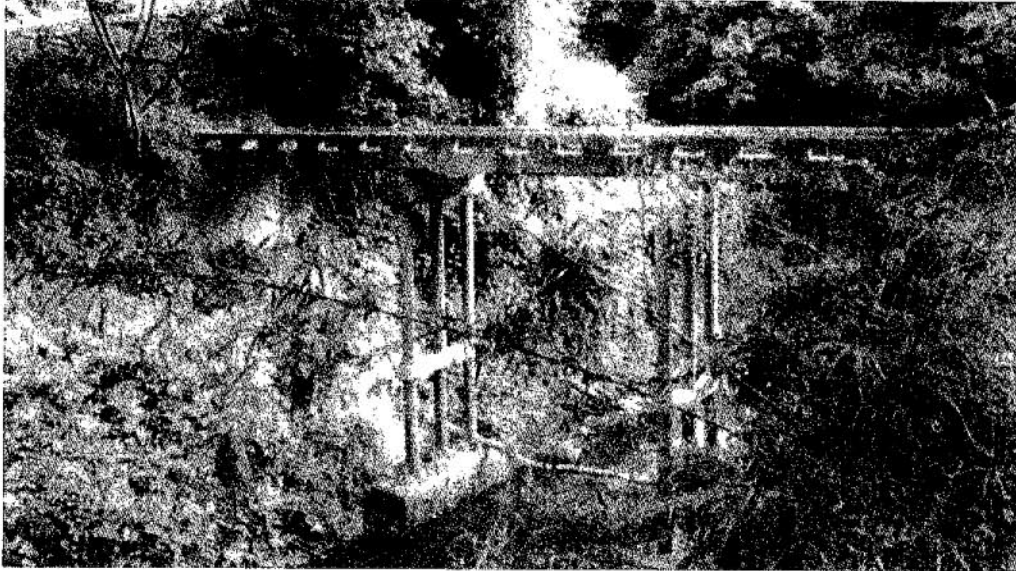
この丸太橋のあるところは、うぐい川の水が玉野川に流れる地点で、大雨が降ると危険な橋（時々流失していた）でした。

村内でも銅野への往来は、この丸太橋を利用しており近隣の村人は“危険な橋”であるということを知っていましたが、他の地域から訪れた商人や旅人は知りませんでした。

このため、丸太橋の流失に巻き込まれ多くの犠牲者（水死）が出ていました。

玉野川での漁獲を稼業にしていた銅野住人・文吉は、犠牲者がでるたびに心を痛めており、蓄えたお金で堅牢な欄干橋を架けました。

そのことを知った水野代官所は褒美を与え、善行をねぎらいました。



欄干橋とは別に、明治に入り県道下半田川線(旧玉野道を直線的に結ぶ格好)が建設されたことから「うぐい川橋」が架設され、旧玉野道は飼野地区に細切(こまぎ)れに残り地道となり、橋の利用は激減しました。

昭和25年4月に玉野川水域が「愛知県立玉野川公園」に指定されたことから、高蔵寺町は、うぐい川から玉野川へ流れる土砂の堆積で“中洲”を形成していたところに「玉野川公園」を造成するため欄干橋を撤去し、コンクリート製の橋「かじか橋」(昭和29年4月)を新設しました。

村内の東西を結ぶ郷道「玉野道」に架かった唯一の橋でした。

また、尾張(愛知)と美濃(岐阜)の県境の丘陵地沿いに流れる“うぐい川”の源流は細野の大久手池で、細野の柿ノ木、半ノ木川、外之原の小木道川、才蔵川を経て木附、玉野の玉野川まで(総

延長=4.307キロメートル)の愛知県の一級河川です。

源流地域の人々が玉野に入るには“井の口橋”を渡らなければ往来することができませんでした。

さらに水野代官所へ行くには玉野川の渡船(岩割瀬の渡し)を利用しなければなりませんでした。

このほか玉野用水ができ、同用水を高蔵寺村に通水するためにうぐい川に架けられた「導水橋(木製の筒橋)」も江戸末期までありました。

同橋は明治時代に入り、コンクリート製の橋げたに水路改良(現在は撤去されています)されました。

## ■ 明治以降に強固な橋ができた

玉野川の“岩割瀬の渡し”は、昭和10年まで運航されていました。

明治時代に入ると、飼野の地先に「鹿乗橋」(明

治41年4月)ができました。

欄干と橋床は木製でしたが、当時としては珍しい鉄骨のアーチ型のモダンな橋に生まれ変わりました。

次いで定光寺への渡る「城嶺橋」も明治43年に木製で完成しましたが、同44年に上流で豪雨で流失したことから、大正2年に吊り橋に架けられました。さらに昭和12年に鉄筋コンクリート製の本格的な橋になりました。

岩割瀬渡しの近くに「玉莖橋」(昭和初期)も架橋されました。

また、うぐい川にも県道春日井・下半田川線に「うぐい川橋」、玉野から内津に通じる木附橋、木附から定光寺駅に通じる郷道にあった「井ノ口橋」も補強されました。

昭和年代に入り、木附を中心にできた高蔵寺弾薬庫(昭和15年8月)の関連で昭和15年4月に鉄道の引き込み線ができ、うぐい川に鉄橋が架設されたほか、進入道路もでき「玉橋」ができました。

同弾薬庫は終戦後、一時期GHQ(極東指令部)が進駐、返還され、自衛隊が管理するようになり、引き込み線は昭和37年に廃線、同42年1月に撤去されました。

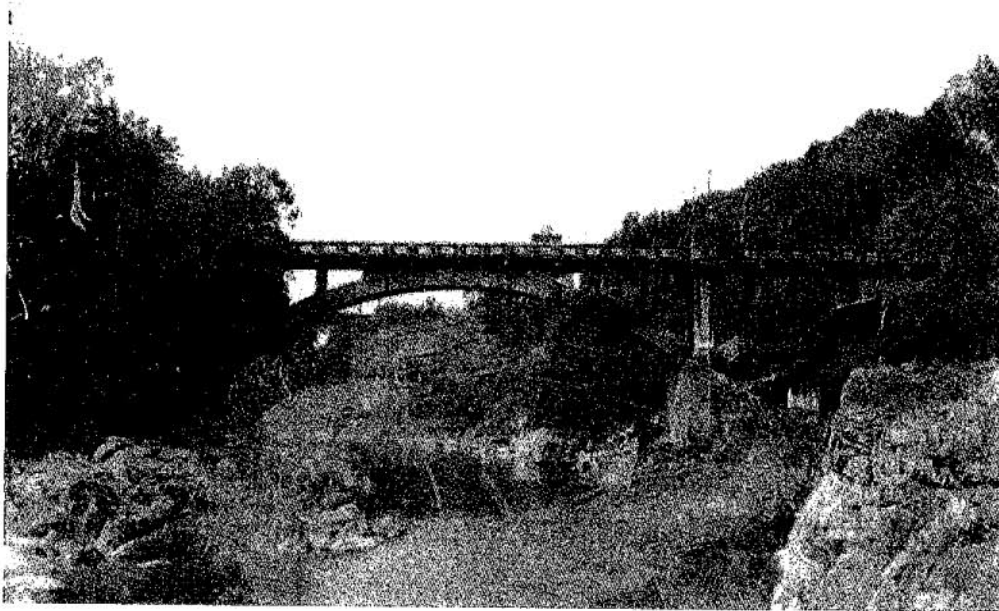
廃線によって線路用地は市道となり、鉄橋は道路専用橋の「ふもと橋」に改良されました。

昭和40年代に高蔵寺ニュータウンの外周道路の新設で、外周道路が県道春日井-瀬戸線になり新たに「木附大橋」が架設されました。

このため細野に通じる群道(木附橋)は市道に



つり橋時代の城嶺橋



格下げされました。

今一つの外周道路（昭和 38 年に都市計画決定）の一つだった高座山の中腹を通過させる都市計画路線は、高座山の住民との合意や手続きの不備から遅延していたが着工のメドがついたことから、うぐい川に「玉川橋」（平成 19 年 3 月完成）ができました。

## ■ 川(水路)もまた道なり

玉野村には、昔から玉野川を渡り、対岸の水野代官所や定光寺・杵掛から美濃の国に行くための“岩割瀬の渡し”がありました。

この渡しは水量の多いときにだけ渡し舟が運行されていました。

水野代官所が管理していた年貢米をはじめと

して、農産物・陶器類を尾張藩（名古屋）の城下に運ぶのに当時はすべて陸路に頼っていました。

安政 3 年 11 月（1856 年）に尾張藩御用商人（名古屋）が、玉野川から下流の庄内川を利用して名古屋までの通船「玉野川通船計画御願書」を尾張藩に願い出しました。

しかし、同流域兩岸の地域にある村々は農業用水に活用しているうえ、同流域内での漁業（川魚）を認め鑑札を交付していることもあり安易に認めるわけにはいきませんでした。万延元年 9 月（1860 年）尾張藩は水野代官所を通じ、同流域各村の庄屋に「同願書を認めなかった旨」の御触状（古文書より）を出しました。



5月19日 JA2YDX フィールドミーティングが玉野町はJO2IKG北農場のハウス内で各局が無線機を持ち寄り QSO されました。

何の解説文書ありませんがよろしくお願ひ申し上げます。



# INFORMATIONS FROM KASUGAI CLUB

## 編 集 余 記

### 区画整理と都市計画との違い

都市計画は道路、他公共施設を創る際の住居移転等の費用は殆ど行政が負担してくれます。

区画整理の場合は「自分達の土地もしくはお金を出して道路や施設を創り街造りましょう」と言う事ですこれを「減歩」と言います。中志段味の減歩率は平均 40%以上になるとも言われています。一軒家の過少地権者のメリットの良否は分かりませんが、言えることは整理が終わった後、固定資産税は上がりますが、発展している事は否めませんね、志段味地区は竜泉寺を超えた所から、吉根・下志段味・中志段味・上志段味とありますが中志段味は整理が進まず草ボウボウが多々あります。他地区はかなりの住宅地になっています。

今から 45 年程前になりますが、JA2EQ・OM、JA2WRL・OM 地区で整理が行われました。減歩率は記憶ありませんが WRL 局の敷地は道路で分断されその道路は減歩となり家屋は移動、EQ・OM の周りはそのままでしたが、減歩でお金を出されたと聞きました。EQ 宅敷地から今の金額に換算すると 100 万円では済まないと思います。

先週の茶会で整理の話が出ましたので改めてまとめて見ました。貴重な紙面を汚してしまいましたが、目を通して頂ければ幸いです。 DRK

C Q かすがい

NO、637 号

令和 06 年 06 月 07 日 (毎月 1 回発行)

発行 JARL 春日井アマチュア無線クラブ

JA2EQ・高蔵寺町  
JA2CAY・小木田町

JA2IC・ことぶき町  
JA2DRK・守山区

JA2ARN・神屋町  
JA2GBA・勝川町

JA2IDZ・守山区  
JI2DQT・高蔵寺町  
JO2IKG・藤山台

JA2LAZ・神屋町  
JK2RGS・神領町  
JS2NQK・高蔵寺町

JA2SZX・高蔵寺町  
JH2CHI・細野町